家庭用

どんぶり・小鉢などどふだん使う「和食器」を考えた

日本の食洗

食器洗い乾燥機

型名 BW-FS80 型

取扱説明書

1 6人分の食器と26cmのフライパンが一度に洗える「収納力No.1」

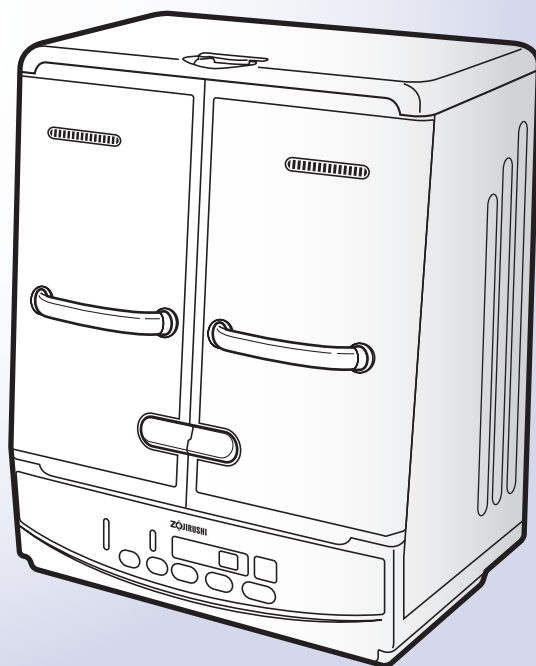
2 がんこな油汚れを強力に落とす「強力(調理器具)」コース

3 節水!「食器少なめ」コース

4 気になる雑菌もすっきりキレイ「除菌すすぎ(80℃)」コース

5 ポタ落ちなし!手前に引き出せる「スレンレスかご」

6 約93%のご家庭に設置できる「スリムサイズ」

7 上下別洗浄だから強力「パワフル立体洗浄」

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保存してください。

保証書別添付

もくじ

ご使用前に

正しい使い方

お手入れ

困ったときは

必要なときに

安全上のご注意

ご使用の前に

※ここに表した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ **警告**	取り扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性がある内容を表しています。
⚠ **注意**	取り扱いを誤ると、傷害または物的損害が発生する可能性がある内容を表しています。

記号について

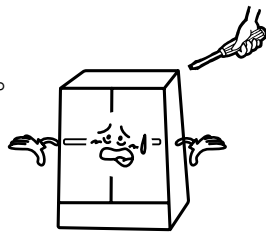
記号	説明
	△記号は、警告、注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。左図の場合は、「感電注意」を表します。
	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。左図の場合は「分解禁止」を表します。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。左図の左は「差込みプラグを抜く」右は必ず実行していただく「強制」内容です。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。
※お買い上げの商品と取扱説明書に記載しているイラストが異なる場合があります。

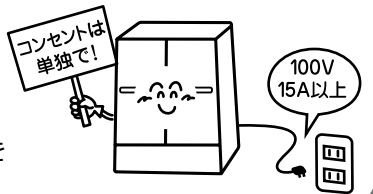
⚠ 警 告

改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない

火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

分解禁止

定格15A以上のコンセントを単独で使う

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

コンセントを単独で使用

アースを確実に取りつける

故障中や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取りつけは、販売店にご相談ください。

アースを確実に取りつける

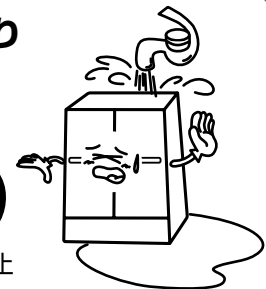
子供が中へ入らないように注意する また使用後は必ずドアを閉める

中からドアは開きません。

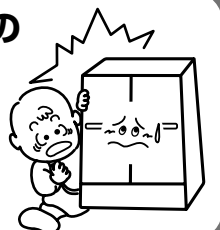
子供が中へ入らないように

水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の恐れがあります。

水ぬれ禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがをする恐れがあります。

禁　止

差込みプラグは、刃（プラグの先端）および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく

火災の原因になります。

ほこりをふく

安全上のご注意 つづき

⚠ 警告

運転中は本体に衝撃を与えない

感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

禁 止

火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近づけない

変形や火災の恐れがあります。

禁 止

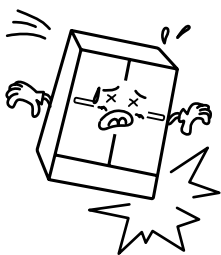
電源コードや差込みプラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

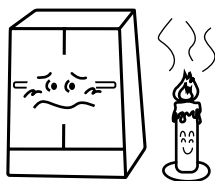
禁 止

交流100V以外では使用しない

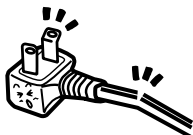
火災・感電・故障の原因になります。

禁 止

運転中または、運転終了後30分間は絶対に庫内やヒーターカバーに触れない

やけどをする恐れがあります。

接触禁止

食器の取り出し、残さいフィルターの掃除、お手入れは運転終了後30分以上経過してから行う

やけどをする恐れがあります。

お手入れは30分以上経過してから

動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のためすぐに差込みプラグを抜いて、販売店に、必ず点検・修理を依頼する

感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

プラグを抜く

販売店へ!
販売店

電源コードを傷つけない

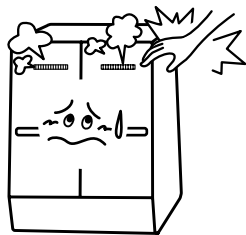
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁 止

⚠ 注 意

蒸気口付近には近づかない

湯気、温風によりやけどをすることがあります。

禁 止

運転中は、ドアを開けない

高温の湯気が出てやけどをすることがあります。
洗浄水が高温になっており、手を触れるとやけどをします。

禁 止

差込みプラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く

感電やショートして発火することがあります。

プラグを持つ

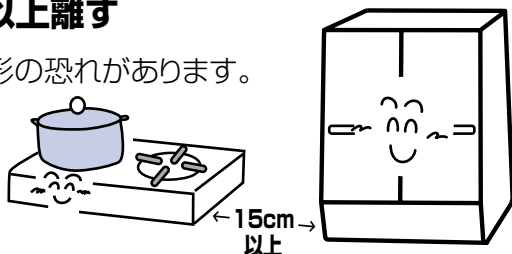
長期間ご使用にならないときは、必ず差込みプラグをコンセントから抜く

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

プラグを抜く

お願い

ガスコンロなどの熱源からは15cm以上離す

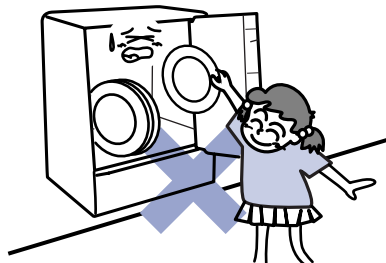
火災や変形の恐れがあります。

ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない

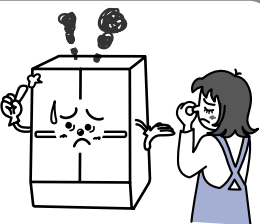
感電やけがをすることがあります。

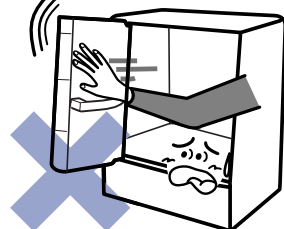
天面にものを置かない

水や熱湯の入った容器・熱器具・電気製品・ガラス類・可燃物などは、特に置かないでください。けがや漏電・火災の原因になります。
また重いものをのせるとドアの作動不良の原因になります。

子供など取り扱いに不慣れな方には使わせない

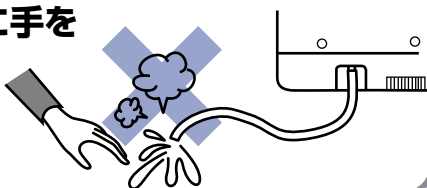
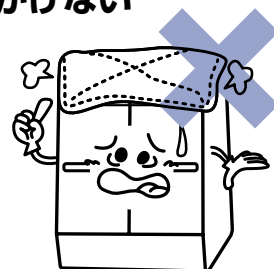
やけど・けがをする恐れがあります。

煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに差込みプラグを抜く

事故の恐れがあります。

開いたドアを強く押さない

転倒・落下により、けがをすることがあります。

排水（高温水）に手を触れない

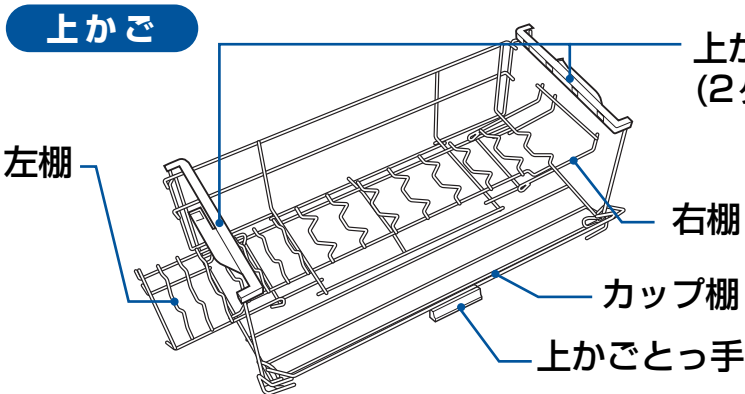
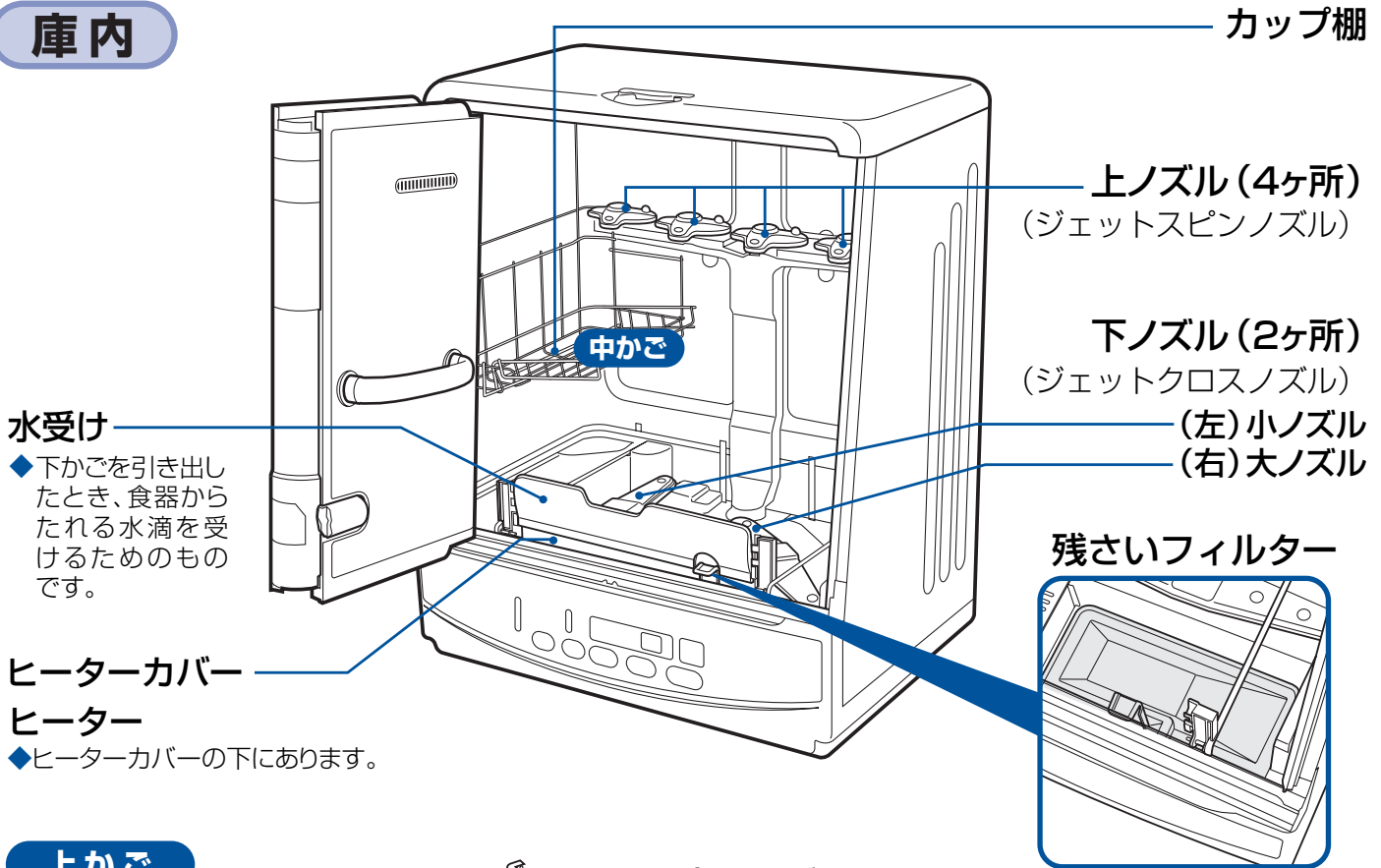
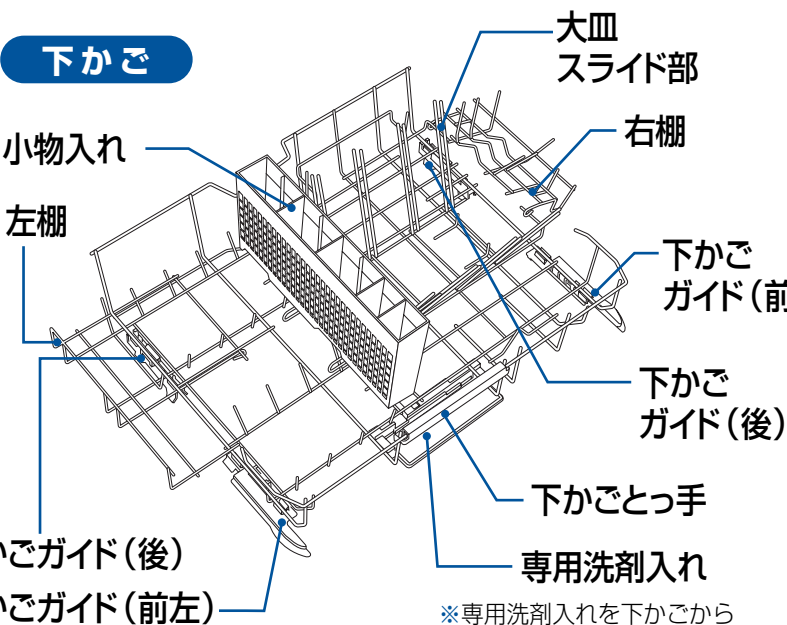
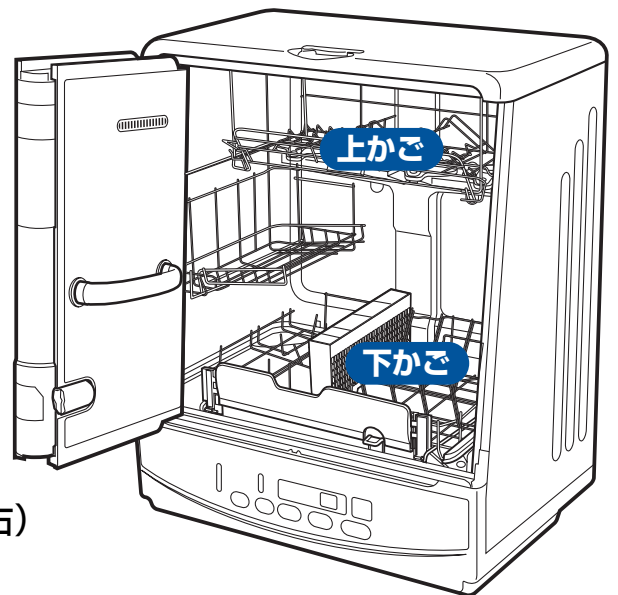
やけどをする恐れがあります。

蒸気口にふきんなどをかけない

本体やドアの変形、変色または乾燥具合が悪くなることがあります。

給水ホースのナットはしっかり締めつける

水もれの原因になります。

- **■差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む** 感電・ショート・発火の原因になります。
- **■残さいフィルターを必ず取りつけて使用する**
- **■残さいフィルターは変形しないように注意する**
  本体内に異物が入り、故障の原因になります。
- **■本機は家庭用のため、業務用には使用しない**
- **■ドアを閉めるとき指の挟みこみに注意する**
  けがの恐れがあります。
- **■食器洗い乾燥機専用洗剤以外の洗剤は絶対に使用しない**
  一般の台所用洗剤を使用すると、泡が大量に発生し、ドア部や底部から流れ出します。また、故障の原因になります。

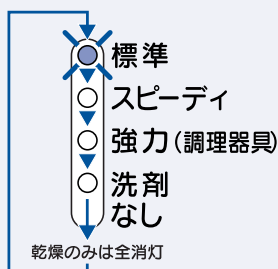
各部のなまえ

※この機種には「給水栓つぎて」を同梱していません。
水栓に給水ホースを接続するときは、「分岐水栓」または「給水栓つぎて」が必要です。（35ページ参照）

※箱から製品を取り出したとき、蒸気口周辺や庫内に水が付着していることがあります。これは、水もれ検査などを行っているためで、水分を十分ふき取っていても製品内部などに残っている若干の水分が表面に出てくる現象で支障ありません。

操作パネルのなまえとはたらき

洗浄コースキー

■コースを選ぶときに押します。
■食器の汚れ具合、洗い方に応じてコースを選びます。
■キーを押すごとに右図のように洗浄コースランプが移動します。
※洗浄コースランプをすべて消灯すると「乾燥のみ」コースになります。

標準
スピーディ
強力(調理器具)
洗剤なし
乾燥のみは全消灯

洗浄コースランプ

■現在選択されているコースが点滅します。
■スタートすると点灯表示になります。

行程

■選んだコースの運転行程を表示します。
■スタートすると進行中の行程が点滅表示します。
終了した行程は消灯します。
■スタートするまでは行程ラ

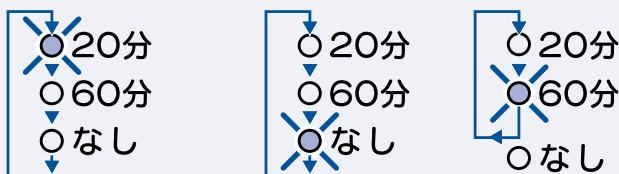
乾燥時間キー (26ページ参照)

■乾燥時間を選ぶときに押します。
■キーを押すごとに下図のように乾燥ランプが移動します。

「標準」「強力(調理器具)」「洗剤なし」コース

「スピーディ」コース

「乾燥のみ」コース

20分
60分
なし

※スピーディコースの乾燥時間初期設定は「なし」です。

乾燥時間ランプ

■現在選択されている乾燥時間が点滅します。
■スタートすると点灯表示になります。

標準
スピーディ
強力(調理器具)
洗剤なし
乾燥のみは全消灯
洗浄コース

20分
60分
なし
乾燥時間

除菌すすぎ(80℃)キー (28ページ参照)

■「除菌すすぎ(80℃)」を選ぶときに押します。
■もう一度押すと解除されます。
■「標準」「スピーディ」「強力(調理器具)」「洗剤なし」コースで選べます。

除菌すすぎ(80℃)ランプ

■「除菌すすぎ(80℃)」を選ぶと点滅します。
■スタートすると点灯表示になります。

食器

■「食器少なめ」を選ぶと
■もう一度押すと解除さ
■「標準」「スピーディ」「強
で選べます。

食器少なめランプ

■「食器少なめ」を選ぶと
■スタートすると点灯表

ランプ

ンプは消灯しています。

残り時間・異常表示部

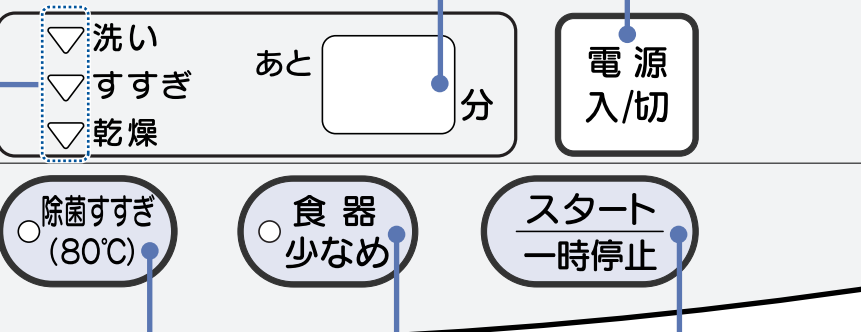
残り時間

■運転中は残り時間の目やすを表示します。

■残り時間が100分を超える場合は、「2H」と表示します。

100分以上 99分の場合

異常表示

■異常が発生したとき、点灯表示とブザー音でお知らせします。
（38ページ「こんな表示が出たときは」参照）

電源 入/切キー

■電源を入れるときに押します。

■押すと「入」になり、もう一度押すと「切」になります。

■スタートせずに放置していると、10分後に自動的に「切」になります。

ZOJIRUSHI
洗い
すすぎ
乾燥
あと 分
電源 入/切
除菌すすぎ（80℃）
食器 少なめ
スタート 一時停止

スタート/一時停止キー

■運転をスタートまたは、一時停止させるときに押します。

■一時停止した後に再びスタートさせるときは、もう一度押します。

※ドアが確実に閉まっていないときに「スタート/一時停止」キーを押すと警告音（ピッ×5回）が鳴り、スタートしません。

少なめキー

（29ページ参照）

きに押します。
れます。
力（調理器具）」「洗剤なし」コース

点滅します。
示になります。

終了ブザーを消すときは…

①差込みプラグをコンセントに差し込む
②「乾燥時間」キーを4秒以上押しながら、「電源 入/切」キーを押す
③ブザーが「ピーッ」と鳴り、設定終了

※終了ブザーが鳴る設定に戻したいときは、上記の操作を再度行ってください。

※差込みプラグを抜いたり、停電があると終了ブザーが鳴る設定に戻ります。

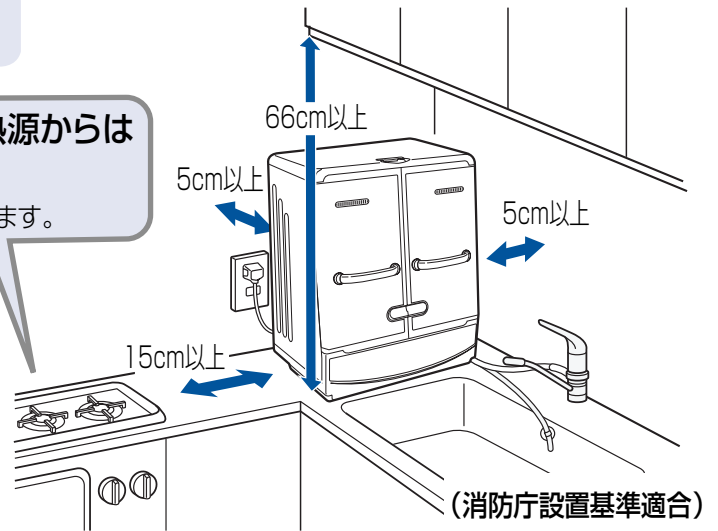
据えつけ方

■本体やかご、残さいフィルターに貼ってあるテープ、ビニタイ、緩衝材（段ボールなど）は、全部取りはずしてください。
■付属品の確認をしてください。（5ページ参照）

設置場所

◆給水、排水に便利なように流し台や調理台の上に置くのが理想的です。
◆しっかりとした平らな面に設置してください。（傾いた場所では正しく動作しないことがあります。）
◆本体の左右は、必ず壁から5cm以上離してください。（ドアを開けたときに、ドアのとっ手が壁に当たります。）
◆設置基準適合により、本体の背面は壁にくっつけて使用できますが、壁の振動防止のため、下記の寸法以上離すことをおすすめします。
◆本機は設置面から上方に66cmの空間があれば設置できますが、蒸気口から蒸気が出て結露する場合があるため、上方の空間をできるだけあけて設置することをおすすめします。
◆凍結の恐れのある場所（室温0℃以下）や直射日光のあたる場所への設置は避けてください。
◆ドアの前にものを置かないでください。
（ドア開閉のためのスペースが必要です。）

ガスコンロなどの熱源からは15cm以上離す
火災や変形の恐れがあります。

（消防庁設置基準適合）

電源

⚠ 警告

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使う
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

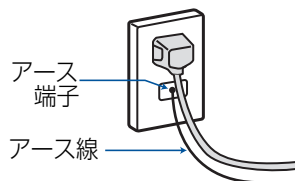
◆必ず交流100Vにつないでください。　◆タコ足配線はしないでください。
◆電気工事はすべて電気設備技術基準に準じて行ってください。
◆万一の漏電事故の安全確保のために、漏電遮断器の設置が必要です。
なお主幹に漏電遮断器を設けてある場合は、新たに設置する必要はありません。

3 アースをつなぐ

⚠ 警告

アースを確実に取りつける
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

コンセントにアース端子がある場合

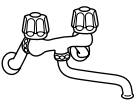
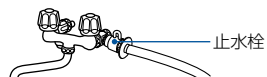
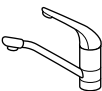
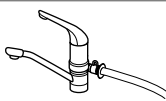
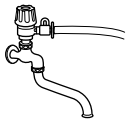
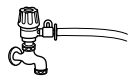
◆アース線の先端を確実にアース端子に取りつけてください。

コンセントにアース端子がない場合

◆D種接地工事（第3種接地工事）が必要ですので、販売店にご相談ください。
◆アース工事は電気工事士の有資格者が行うよう法令で定められています。

◆ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。
（法令などで禁止されています。）
◆設置場所の変更や、ご転居の際には、再度アースの取りつけを行ってください。

据えつけ方 つづき

水道水圧の確認

◆給水圧力は0.03～1MPa｛0.3～10Kgf/cm²｝の範囲でご使用ください。1MPa｛10Kgf/cm²｝を超える場合、台所の水栓などの操作時に水道配管の異常音（ウォーターハンマー現象）が発生する場合は所定の減圧弁を必ず取りつけてください。
◆給水流量は、蛇口全開時で毎分8リットル以上必要です。
◆給水圧力・給水流量の確認は水道工事店またはお買い上げの販売店にご相談ください。
◆水圧が低い場合は、運転時間が長くかかります。

給湯機に接続するとき

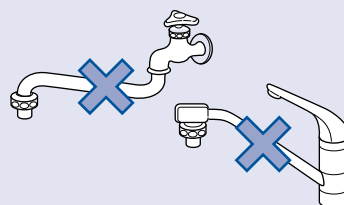
◆給湯の場合は10号以上の先止め式給湯機に接続してください。元止め式の湯わかし器には絶対に接続しないでください。
◆70℃以上の湯が供給される蛇口には接続しないでください。本機の故障の原因になります。
◆給湯機に接続される場合は水道工事店またはお買い上げの販売店にご相談ください。
（特に高水圧地域では、給湯機に所定の減圧弁を必ず取りつけてください。）

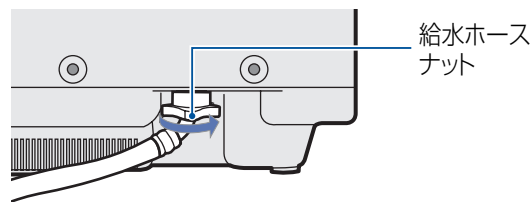
水栓に「分岐水栓」または「給水栓つぎて」を取りつける

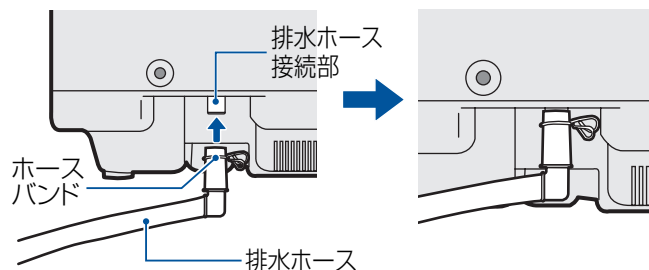
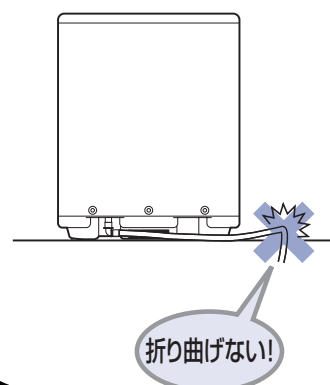
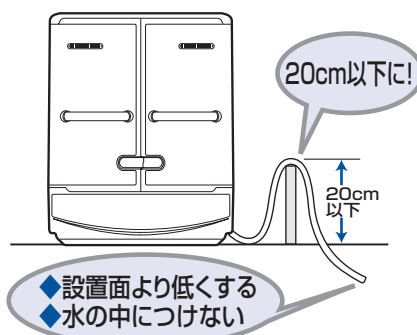
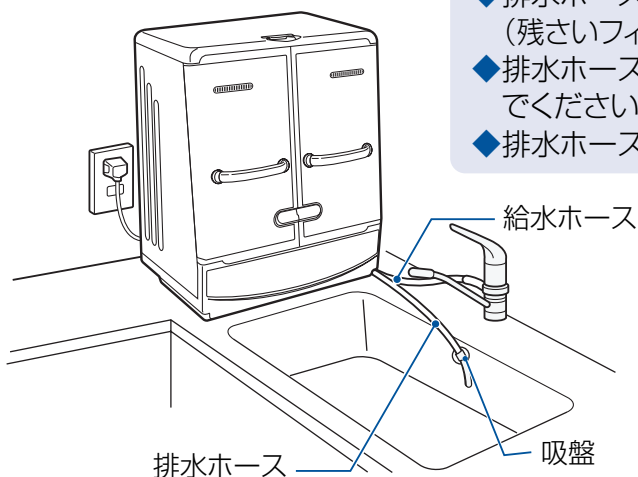
◆この機種には「給水栓つぎて」を同梱しておりません。
・水栓の形に合わせて弊社指定の「分岐水栓」または「給水栓つぎて」をお買い求めください。
・取りつける「分岐水栓」は、水栓の形に合わせて種類が異なりますので、販売店にご相談ください。
・水栓への取りつけは、「分岐水栓」および「給水栓つぎて」の説明書にしたがってください。

取りつけ例

		取りつけ前	適用分岐水栓・給水栓つぎて	取りつけ後
自在水栓	湯水混合栓	バルブタイプ	分岐水栓 止水栓 （CB-S268A6）	止水栓
自在水栓	湯水混合栓	シングルレバータイプ	分岐水栓	
自在水栓	単水栓		分岐水栓 （CB-E6）	
横水栓			分岐水栓 （CB-E6）	
横水栓			給水栓つぎて （72-4266）	

※自在水栓の先端には「給水栓つぎて」を取りつけないでください。水もれの原因になります。
※横水栓に、すでに古い「給水栓つぎて」がついている場合は、必ず「分岐水栓」または新しい「給水栓つぎて」を取りつけてください。
※長期間使用しない場合は、止水栓を閉じてください。

給水ホースナットを締めつける

工場出荷時には締めつけていますが、再度確認してください。

排水ホースをセットする

①あらかじめ排水ホースの取り出し方向を決めて、排水ホース接続部に挿入する
②ホースバンドで固定する
③排水ホースの先を流しの中に入れ、吸盤で固定する

◆排水ホースの先端は、設置面より低くしてください。また、先端を水につけないでください。（排水不良や残さいフィルター部の残水の増加の原因）
◆排水ホースの途中を立ち上げるときは、20cm以下にしてください。（残さいフィルター部の残水の増加の原因）
◆排水ホースは折り曲げないでください。また、本体で踏んでつぶさないでください。（排水不良の原因）
◆排水ホースが長いときは、切って調節してください。

9 給水ホースの取り出し方向をかえる場合

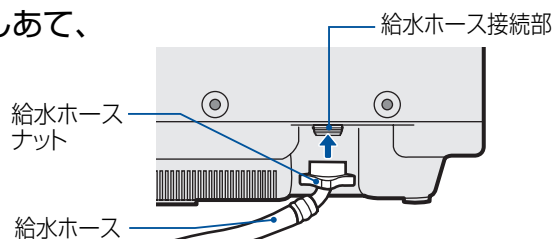
①給水ホースナットをゆるめ、給水ホースの取り出し方向をかえる
※このときゆるめすぎてホースがはずれないように注意してください。
②給水ホースナットをねじ込み十分締めつける

10 給水・排水ホースが短い場合

付属の給水・排水ホースが短いときは、別売のホースを別途お買い求めください。（41ページ参照）

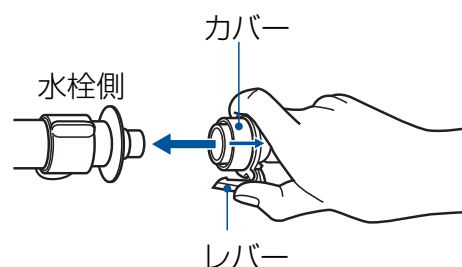
別売給水ホースの取りつけ方

①あらかじめ、給水ホースの取り出し方向を決めて、その向きにホースを合わせる
②給水ホースナットを給水ホース接続部にまっすぐ押しあて、給水ホースナットをねじ込み十分締めつける

※ナットを締めつけた後、給水ホースの向きをかえると、ナットがゆるみ、水もれの原因になります。
※給水ホースは折り曲げたり、本体で踏んでつぶさないでください。

据えつけ方 つづき

11 給水ホースを水栓側につなぐ

①給水ホースのカバーとレバーを押し下げたまま水栓側（分岐水栓または給水栓つぎて）に「パチン」と音がするまで差し込む

②給水ホースを引っ張って、抜けないことを確認する

12 水もれがないか確認する

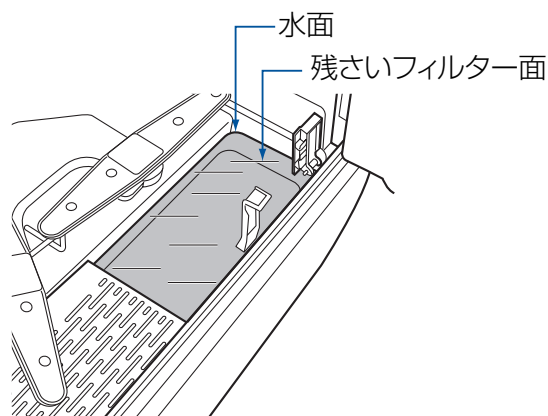
分岐水栓の止水栓を全開にして、各接続部からの水もれがないことを確認してください。

13 水平の確認を行う

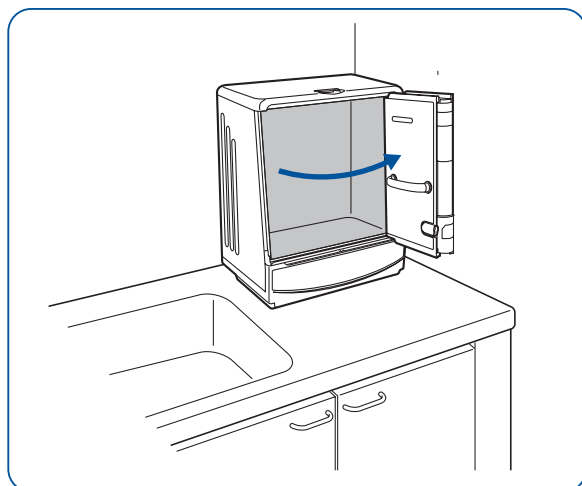
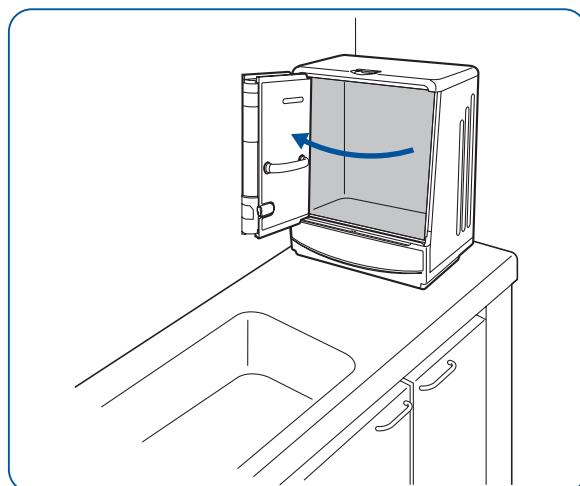
①ボールやなべなどで庫内に水を約1リットル程度ゆっくりそそぐ

※庫内のふちに水がかからないようにしてください。

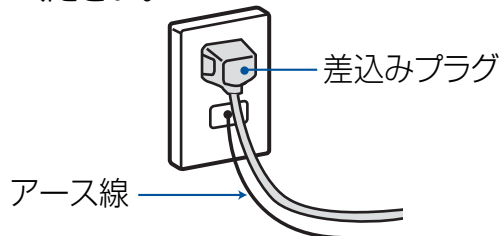
②残さいフィルター面と、水面がほぼ平行になっていることを確認する

※水は次回運転時に自動的に排水されます。

14 ドアの開閉方向を決める

◆設置場所、使用状況に合わせて、ドアの開閉方向を決めます。
（ドア開閉方向の切りかえ方は、11ページ「ドアの切りかえと開閉」参照）

右開きの場合

左開きの場合

運転前の準備

1 差込みプラグをコンセントに差し込む

※アース線も忘れずに取りつけてください。

2 分岐水栓の止水栓を全開にする

※止水栓を全開にしないと、異常表示（F1）をすることがあります。

3 給湯接続の場合

①給湯機の運転スイッチを入れる

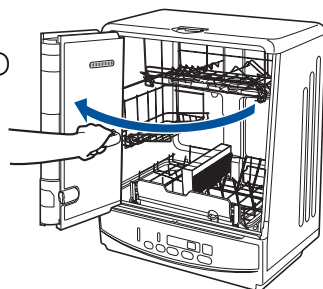
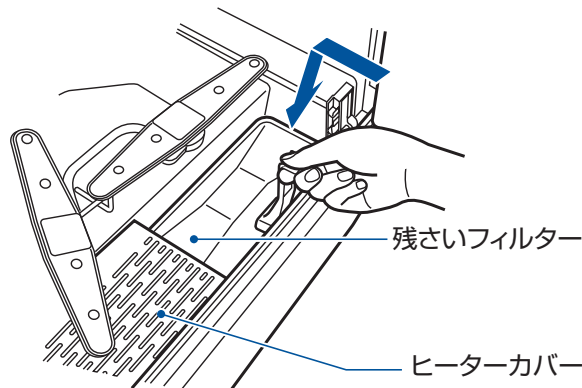
◆給湯機の運転スイッチを入れずに運転すると、水温が低いため、運転時間が長くなります。

②給湯温度を60℃に設定する

※70℃以上の湯は使わないでください。故障の原因になります。

※運転終了後は、給湯機の温度設定を元に戻してください。

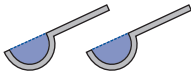
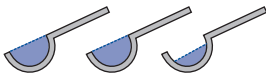
4 開ボタンを押し、ドアを開ける

（11ページ「ドアの切りかえと開閉」参照）

5 残さいフィルターが正しくセットされているか確認する

6 食器の残さいを取り除く

※魚の骨、つまようじ、輪ゴムなども取り除いてください。
ポンプ故障の原因になります。

※ヒーターカバーの穴につまようじなど、ものを落とさないように注意してください。

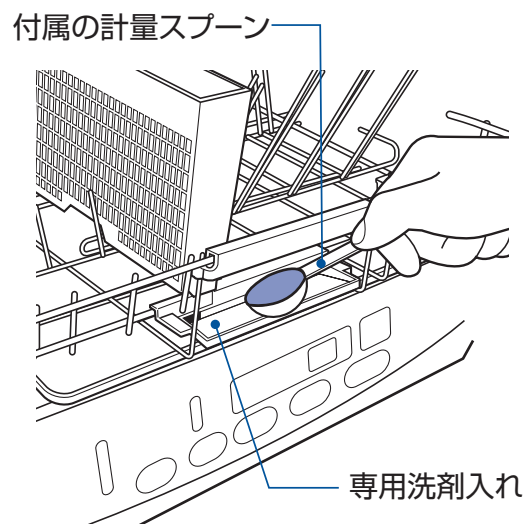
7 食器を入れる

（15～22ページ「食器の入れ方」参照）

※入れてはいけないものや、落ちない汚れがありますのでご注意ください。
（23～24ページ「入れてはいけないもの」参照）

◆据えつけ方については、34〜37ページ「据えつけ方」をご覧ください。

8 専用洗剤入れに専用洗剤を入れる

※食器の量や汚れ具合で洗剤の量を加減してください。
※油汚れが多いときは多めに入れてください。
※専用洗剤は、必ず運転を開始する前に入れてください。

標準 スピーディ	付属の計量スプーン 2杯	
	「食器少なめ」モードを選択する場合	付属の計量スプーン1杯
強力 (調理器具)	付属の計量スプーン 2.5杯	
洗剤なし	専用洗剤は必要ありません。	
乾燥のみ	専用洗剤はいれないでください。	

(25ページ「運転する」参照)

食器洗い乾燥機専用洗剤以外の洗剤は絶対に使用しない

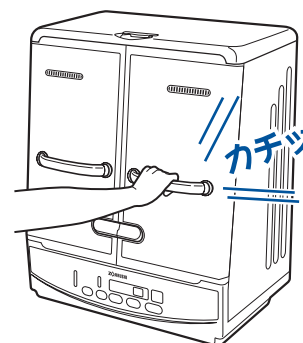
一般の台所用洗剤を使用すると、泡が大量に発生し、ドア部や底部から流れ出します。また、故障の原因になります。万一、台所用洗剤を誤って使用された場合、使用を中止し、下記の処置を行ってください。
※誤使用により故障した場合の修理は有料になる場合があります。

専用洗剤以外の洗剤を入れた場合の処置方法(泡かみの解消法)

① 「電源入/切」キーを押し、電源を切る
② 半日程度放置する
　※絶対にドアを開けて水をつぎ足すなどして庫内を洗わないでください。
③ 「電源入/切」キーを押し、電源を入れ、「標準」コースを選択する
④ 「スタート/一時停止」キーを押し、スタートする
⑤ スタートから3分程度経過したら、「電源入/切」キーを押し、電源を切る
⑥ ③〜⑤を5回程度繰り返す

9 ドアを閉める

(11ページ「ドアの切りかえと開閉」参照)

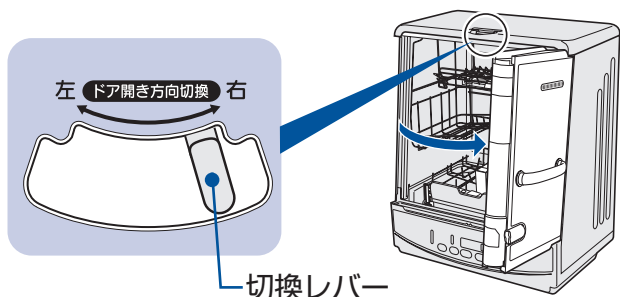
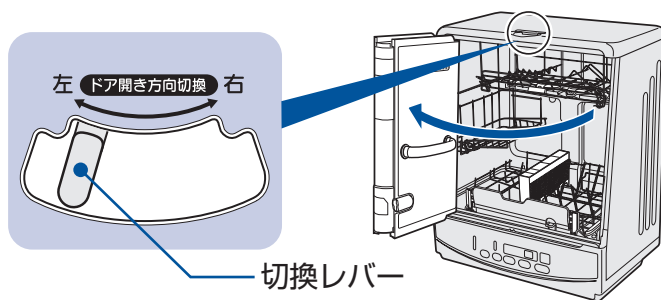
※ドアはゆっくり閉めてください。
　(ドアが食器などに接触した場合に食器が破損する恐れがあります。)
※スライドするドアに食器や水受けが当たる場合は、食器を入れ直してください。
※とっ手を持って「カチッ」と音がするまで確実に閉めてください。

ドアの切りかえと開閉

安全ロック機構

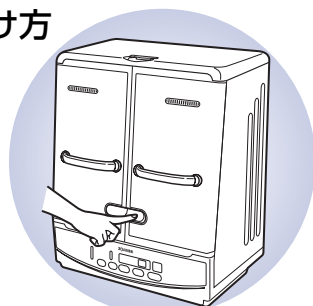
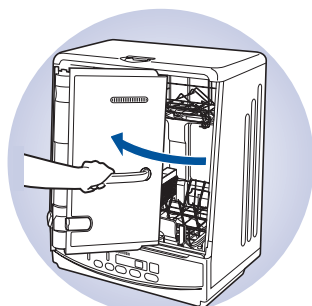
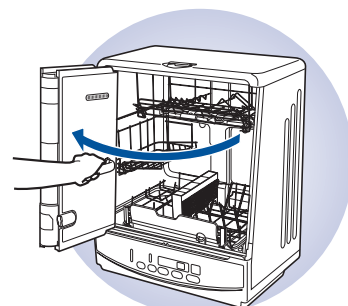
洗浄中（洗浄ポンプ作動中）はドアが開かないしくみになっています。
ドアを開ける場合は「スタート/一時停止」キーを押して運転を止め、10秒以上たってから開けてください。開ボタンを押してドアが開かない場合は、数回押してください。

ドアの開閉方向の切りかえ方

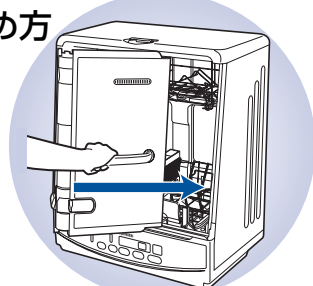
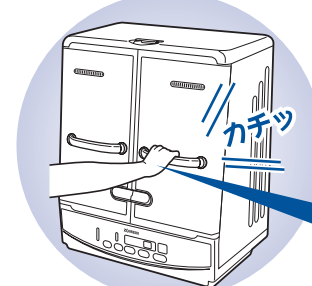
ドアを閉めた状態で、切換レバーを切りかえます。※ドアを開けた状態では切換レバーを動かさないでください。（故障の原因）

右に開ける場合 …切換レバーを右にセットする

左に開ける場合 …切換レバーを左にセットする

ドアの開閉のしかた

ドアは左右どちらにも開くことができます。

開け方

①開ボタンを押す（ドアが少し浮きます）
※左右どちらの開ボタンを押してもかまいません

②とっ手を持って左へ（右へ）スライドさせる

③ドアが固定されるまでとっ手の端（外側）を押し、開ききる

※最後まで開ききらないと、かごを引き出すときにドアに当たることがあります。

閉め方

①とっ手を持って右へ（左へ）スライドさせる

②「カチッ」と音がするまでとっ手のドア中央付近をしっかりと押す

※ドアの上下にロック機構があり、片側が閉まっていない場合がありますので、必ずしっかりと押してください。

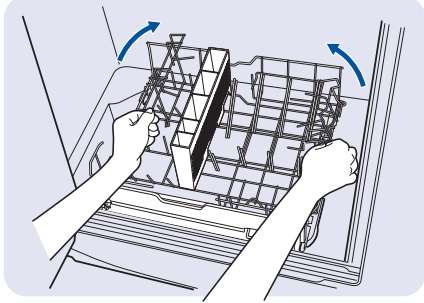
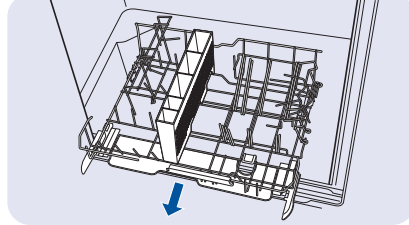
ご注意

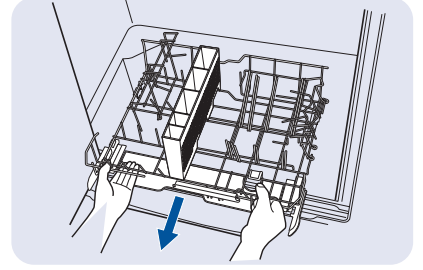
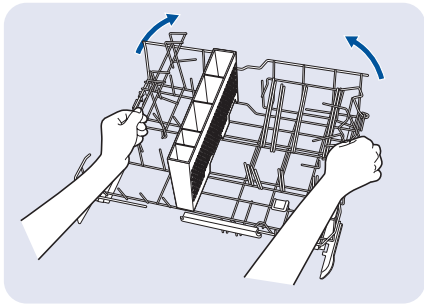
◆ドアの上側または下側だけを押して閉めないでください。ドアの上下にロック機構があり、片側しか閉まっていないことがあります。必ずとっ手を持って閉めてください。
◆ドアがしっかり閉まっていない状態で「スタート/一時停止」キーを押すと、スタートせずにブザー（ピッ×5回）が鳴ります。

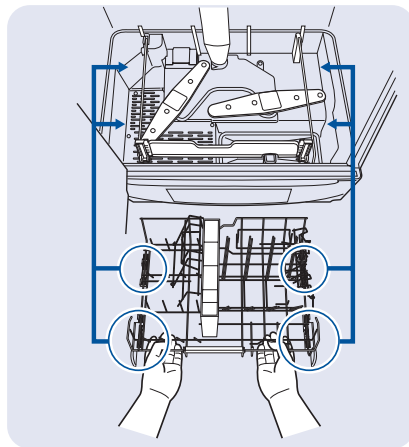
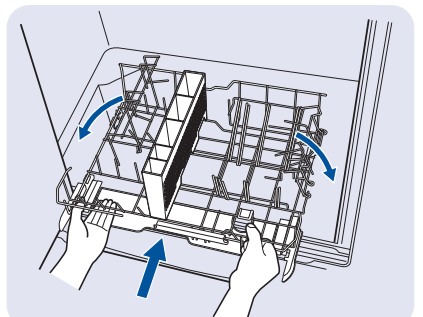
かごの取りはずし方、取りつけ方

◎かごの取りはずし、取りつけは、食器をすべて取り出してから行ってください。
◎中かごは取りはずさないでください。
◎小物入れの着脱方法は、33ページ「お手入れ」をご覧ください。

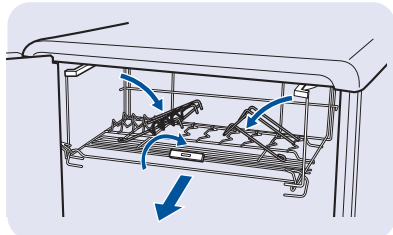
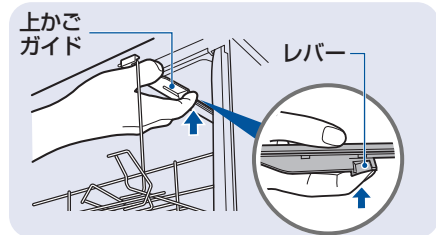
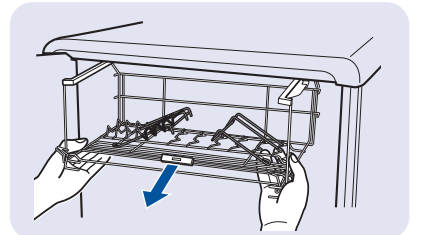
下かごの取りはずし方

①右棚、左棚を内側へ倒す

②止まるまでまっすぐに引き出す

※右棚、左棚を外側に開いたままの状態で、かごを引き出さないでください。（庫内や、ドアに当たります。）

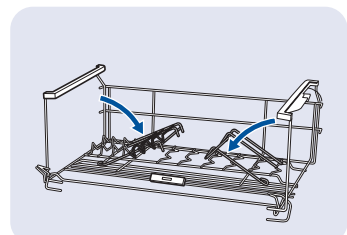
③両手で枠を持って、持ち上げながら手前に引き出す

下かごの取りつけ方

①右棚、左棚を内側へ倒す

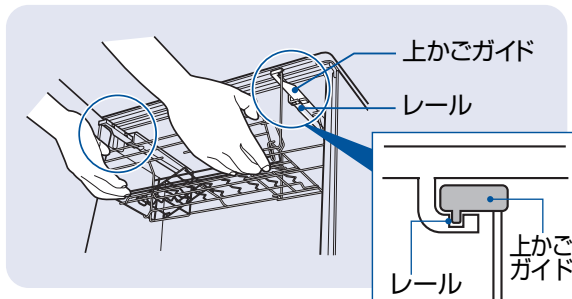
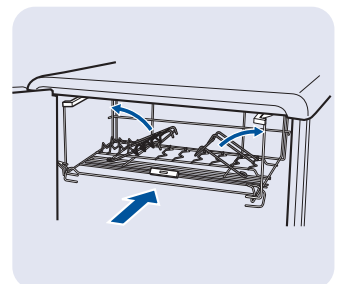
②両手で枠を持って、下かごガイド（4ヶ所）を、レールに合わせる

③庫内に押し込み、右棚、左棚を外側へ倒す

※レールから下かごガイドがはずれたままの状態で使用しないでください。（かごが落下し、食器類の破損の原因になります。）

上かごの取りはずし方

①上かごを止まるまで引き出し、右棚、左棚、カップ棚を内側へ倒す

②両手で左右の上かごガイドのレバーを上に押しながら、手前に引く
（ロックがはずれます。）

③両手で上かごを持ち、さらに手前に引き出す

※右棚、左棚を外側に開いたままの状態で、かごを引き出さないでください。（庫内や、ドアに当たります。）

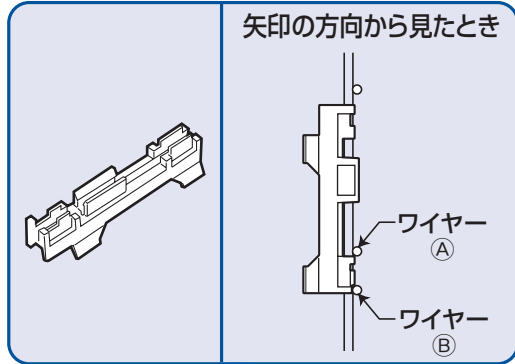
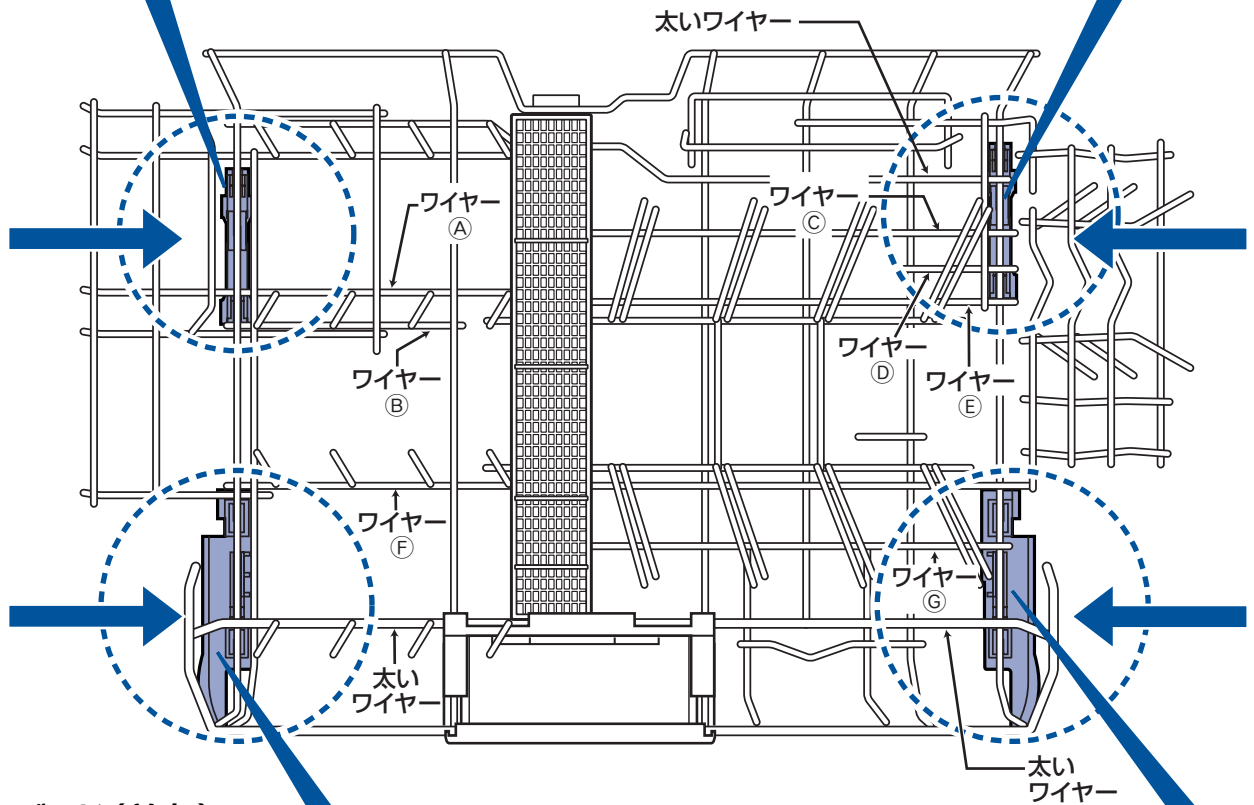
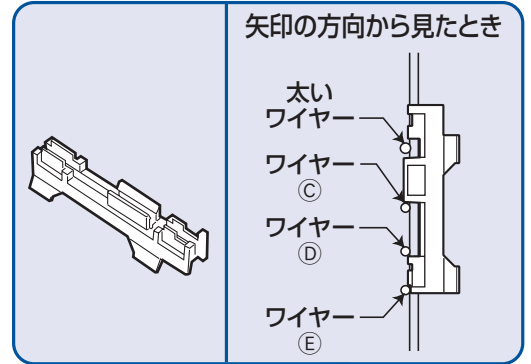
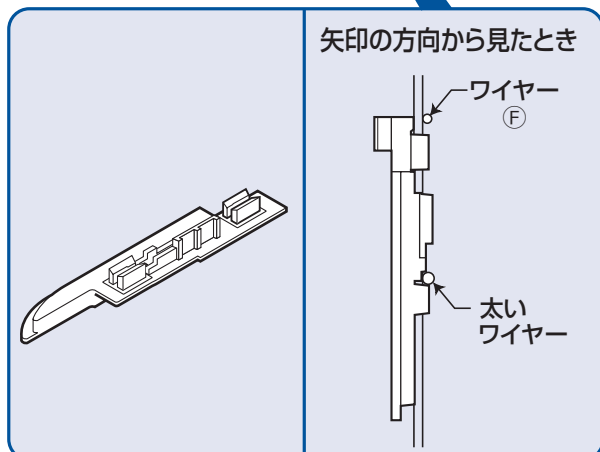
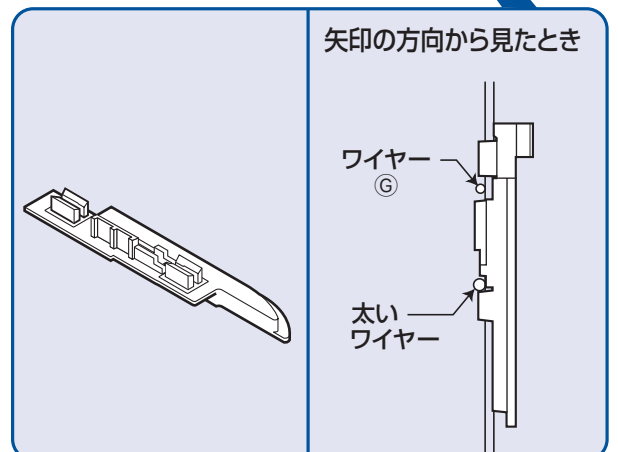
上かごの取りつけ方

①右棚、左棚を内側へ倒す

※右棚、左棚は通常は外側に倒して使用してください。

②両手で上かごを持って、上かごガイド（2ヶ所）を、レールに合わせる

③庫内に押し込み、右棚、左棚を外側へ倒す

下かごガイドの取りつけ位置

下かごガイドがはずれた場合は、下図の位置に正しく取りつけてください。

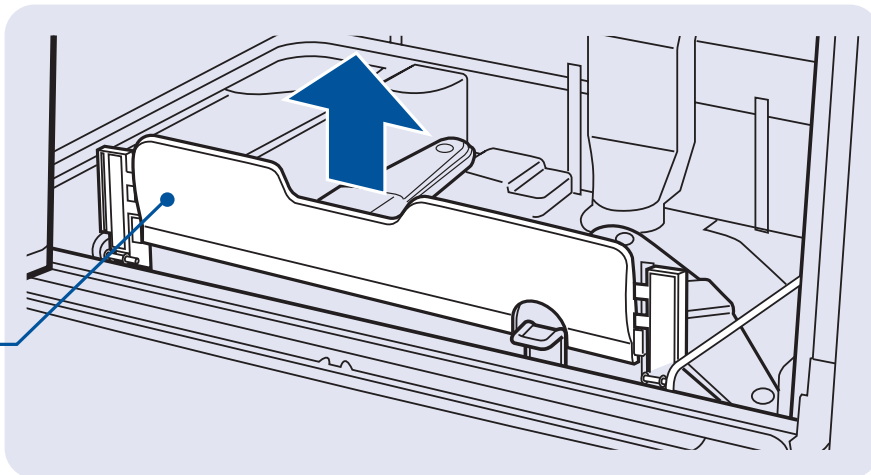
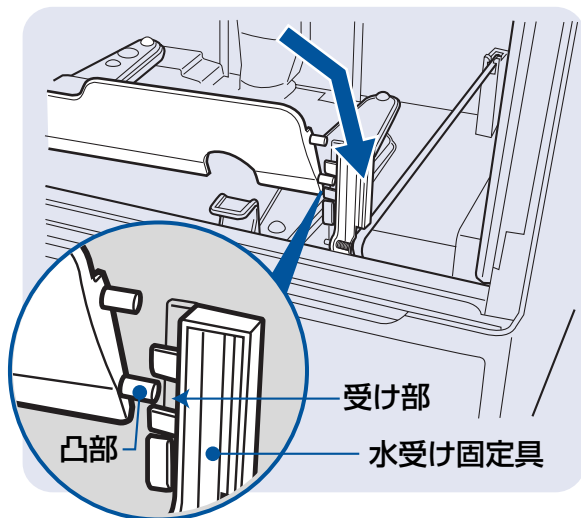
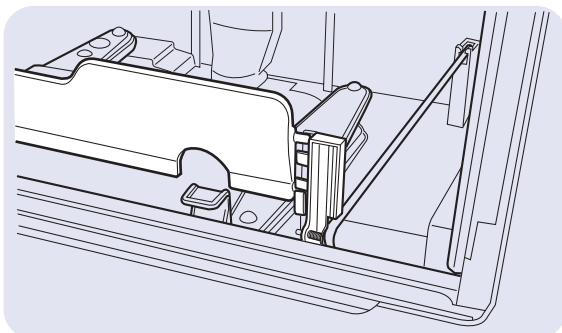
※下かごガイドを取りつけるときは、方向に注意してください。

※「カチッ」と音がするまで確実に取りつけてください。

水受けの取りはずし方、取りつけ方

取りはずし方

水受けを上へ引き上げ
取りはずす

水受け

取りつけ方

1 水受けの下側の凸部（左右2ケ所）を水受け固定具の下側の受け部（左右2ケ所）に差し込む

2 水受けを垂直に立てる

3 水受けの上側の凸部（左右2ケ所）を水受け固定具の上側の受け部（左右2ケ所）に上から差し込む

※カチッとなるまで確実に左右の凸部を差し込んでください。
正しく取りつけないと、ドアを閉めるときに当たることがあります。